

# 非核の政府を 求める大阪の会

## ニュース

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉 梅田 章二  
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)  
 TEL.06 (6765) 3032 FAX.06 (6765) 3033  
 URL・https://hikaku-osaka.jp/  
 E-mail・hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp  
 hikakuosaka@hotmail.com

第217号 2023年 9月1日

# ニュース

—— 国連・諸国政府と市民社会の共同を大きく発展！ ——  
 —— 現地・長崎参加は学ぶべき多し ——

# 核兵器のない平和で公正な世界へ

現地での世界大会の開催に際して、非核の会は青年を会の代表として派遣しました。成海鉄雄氏からの参加感想文を紹介します。

4年ぶりの現地開催でとても楽しみにしていましたが台風6号の影響で、大会も縮小され9日の式典もいつもと違った方式となりました。

しかし、例に出すと大阪の学生ツアーのように、全行程で中止となったグループもあったことを考えると、結果的には縮小になったものの、直接、開会式閉会総会と分科会というメインイベントに参加できてとても良かったですと感じています。



私自身は3度目の世界大会参加、長崎は前回現地開催の2019年に引き続き2回目に参加です。過去2回は大会行程を優先し(それはそれで大事なことです)平和公園や資料館には行っていない

今回の台風の影響で2日目、8日の8:30頃から分科会のはじめ10:00頃まで時間が空いたので、少し駆け足ではありますが平和公園

と爆心地公園を見学しました。

平和公園や爆心地を訪れると現実感が強く、ある種の緊張感のようなものを感じ、身の引き締まるような思いです。二度とこの惨禍を繰り返してはならないという気持ちがあり、より一層強くなりました。

今回、最も印象に残ったのが開会総会でのウクライナ代表の発言(動画)でした。ロシアが一方的に侵略したことは許されない。という前提ですが、応戦して戦争になれば結局非人道的なことがどちらからも起こるので、防衛でも戦争をするべきではない、というよう

な趣旨でした。賛否両論となりそうですが、核抑止に置き換えれば「守るための核武装」として正当化されている現状が確かにあり、それに対しては「おかしい、あらゆる核をなくすべきだ」と考えるのが自然な解釈なので、うなず

けるように思いました。

また、この活動家はロシアに加担したかどでウクライナ当局に捜索を受け、拘束されているとのことで戦争というものの異常性について再確認できたように思います

台風で短くなったものの、3日間の行程を無事終えられよかったです。4年ぶりの参加で学びも深められて、楽しむこともできたようにも思います。

ロシアの侵略や、維新の「核共有」発言など、核軍縮、非核化に対する情勢も厳しくなる中、今長崎で集まること、集まれることの意味を大事に受け止めたと思います。



### 【非核五項目】

- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
- ② 国是とされる非核三原則を厳守する
- ③ 日本の核戦力増強へのすべての措置を阻止する
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会の国際連帯を強化する

# 原爆投下を裁く「民衆法廷」準備の韓国国際会議参加の旅(II)

日帝強制動員歴史館の展示から考えたこと

韓国4日目には、釜山の「国立日帝強制動員歴史館」を見学した。その中で気になった説明があった。

「1945年8月6日に広島市、8月9日に長崎市に原子爆弾が投下された。その結果、死傷者が数十万人に至った。その中には強制動員された朝鮮人と日本軍捕虜として連行さ



れた連合軍兵士もいた。朝鮮人の原爆被害者は、概略で広島で5万人、長崎で2万人で合計7万人と推定される。そのうち約4万人は1945年のうちに死亡した。残る3万人のうち2万3千人余りが母国に帰還したと推定される。原爆被爆者全体の約10分の1に当たる朝鮮人の死亡率は75.1%で、死亡率全体は33.7%に比べて相当に高い。理由は、朝鮮人は被爆当時防空施設に退避できなかった場合が多かったせいだと言われている。しかも、「死の灰」が降り続くなか、都市復旧と清掃に動員され、被曝した場合も多かったためである。日本は、2都市の惨状を大々的に宣伝して反戦平和を全世界に訴えている。日本は反戦平和を叫ぶに

先立つて戦争加害に対する痛切な反省とともに、それに対する責任を全うする姿勢を見せなければならない。」

後段は、日本「政府」の姿勢を的確に突いている。

しかし、前段は疑問がある。日本の死者数すら正確なところが分からない状況で、朝鮮人の被爆者、死者数も正確なところが分からない。「死亡率」も正確なことは分からない。さらに、「死亡率」が高い理由を、「朝鮮人は被爆当時防空施設に退避できなかった場合が多い」ことに求められているが、そもそも、原爆投下された際に、防空壕に逃げる暇などなかった。黒い雨などの放射性降下物は降り注いだか、「死の灰」というのはビキニでの放射性降下物を指して言われることが多い。都市復興と「清掃」(この言葉も適当なの

か疑問がある)に動員されたかどうかは分からないが、朝鮮人であったかどうかに関わらず、広島、長崎に滞在している以上、残留放射線の影響を受けたと思われる。まさに、核兵器に勝者も敗者もなく、富める者も貧者も放射線の被害を受けた。核兵器の残虐性、非人道性は、被害者が朝鮮人であったかどうかどうにかに関わらないはずである。

韓連帯を  
釜山SPARKの皆さんには、釜山の在韓米軍基地の案内していただいた上、「本と子供たち」書店という素敵な場所で大々さんの会員のの方に歓迎していただいた。

最後に  
5日間にわたった韓国訪問。非核の政府をつくる大阪の会からのピンチヒッターでの参加であったが、充実の5日間。5日間一緒に行動した兵庫県原水協の皆さんをはじめ東京、広島、九州の皆さんとも交流ができ、何より韓国の被爆者の皆さん、SPARKをはじめとする韓国の皆さんと交流でき、ほんとうに楽しかった。晋州博物館で見学した日本と韓国の歴史、韓国の被爆者とその支援団体の皆さんの取組み、米軍に抵抗して平和と統一を願って地道に、かつ明るく活動する皆さんの活動、知らなかったことをたくさん学んだ。帰国後、複数の釜山SPARKのメンバーからfacebookに友達リクエストをもらった。次は長崎での再会を楽しみにしている。韓国語を本気で学びたくなった。以上(弁護士・愛須勝也)

ただ、朝鮮人被爆者の場合、「強制連行、被爆、放置」の三重苦と言われるように、戦後長きにわたり救済の対象から弾き出されて蚊帳の外だったことが被爆者を悲惨な状況に置き、「死亡率」を高めたと言えるかも知れない(日本の被爆者も戦後10年間は放置され、その後も十分な救済を受けた訳ではない)。そこを正確に指摘することが日本側に求められているのではないか。

核廃絶のために日

# シリーズ大阪における 国民平和行進

## 1975年の平和行進 ：統一の気運をうけて 被爆30周年の平和大 行進（7.3・7.7）

1975年は、被爆30周年を迎え核問題と被爆者援護に関する国民的関心と世論は急速に高まっていきまし  
た。3.1ビキニデー  
を迎え、静岡県で統一  
促進準備会（静岡県の  
社会党、共産党、県評、  
平和委員会）が成立し、  
「三・一被爆国民の広  
場」として十数年ぶり  
に統一したビキニデー  
が開催されました。さ  
らに、中央段階で平和  
委員会と総評を共同座  
長とする原水爆禁止運  
動の統一をめざす懇談  
会が開かれました。し  
かし、いかなる国の核  
実験問題と妨害勢力の  
参加問題で意見の一致  
をえられず、流会とな  
りました。国際的には、  
ベトナム、カンボジア、  
ラオスが解放され、新  
植民地支配体制に大き  
な打撃をあたえました。



「枚方市職労の35年」より

7月3日四条  
曙市役所前で奈  
良県から引き継  
ぎ  
7月4日大東  
市役所→東大阪  
市役所→東成区  
市役所→府庁（黒田府  
知事出迎え）

7月5日守口市役所  
→門真市役所→寝屋川  
市役所→枚方市役所  
（右写真）  
7月6日高槻市役所  
→茨木市役所→摂津市  
役所→吹田市役所  
7月7日吹田市役所  
→豊中市役所→池田市  
役所→川西市役所（兵  
庫県に引継ぎ）  
「府内網の目コース」  
□泉佐野→府庁コー  
ス（550人）  
7月2日泉佐野市  
役所→貝塚市役所→岸  
和田市役所→忠岡町役  
場→和泉市役所  
7月3日和泉市役  
所→泉大津市役所→高  
石市役所→浜寺公園→  
堺市役所→おりの橋  
7月4日おりの  
橋→住吉大社→塚西→  
播磨町→天王寺→上六  
→府庁

7月2日河内長野  
市役所→羽曳  
野市役所→松原市役所  
7月3日松原市役  
所→藤井寺市役所→柏  
原市役所→八尾市役所  
7月4日八尾市役  
所→東住吉・平野→生  
野区→東成区→府庁  
□西淀川→府庁（2  
59人）  
7月4日西淀川区  
役所→淀川→東淀川→  
豊里大橋→森小路→  
野江町→都島本通→  
天神橋→府庁  
被爆三十周年の国民  
平和行進の全国縦貫  
コースは、7月4日奈  
良県から引継ぎ、7日  
吹田市役所を出発、豊  
中市、池田市を通り兵  
庫県川西市役所までの  
行進でした。全国縦貫  
コースの大東市役所か  
ら東大阪市役所を通り  
府庁へ。府庁では、網  
の目コースの2日朝泉  
佐野市役所前、河内長  
野市役所前、4日西淀  
川区役所前から出発し  
た。府庁前で合流し

### とくみ

今夏の非核・平和の

【堺からの報告】  
昭和20年7  
月10日、死者1  
860名、全焼  
戸数1万800  
9戸、罹災人口  
7万人という大  
惨事となった堺  
大空襲がありました

た平和行進には、忙し  
い公務の中黒田一府  
知事も顔をみせ、激励  
をしました。府下衛星  
都市では富田林を除き  
市長・市議会議長から  
のメッセージ、協賛金  
をうけました。  
\*\*\*\*\*  
【堺からの報告】

夢の島第五福竜丸前か  
ら国民平和大行進が出  
発しました。大阪は6  
月7日、第14回定期  
総会終了後、平和行進  
打ち合わせ会を開催し  
て「被爆30周年国民  
平和大行進」を決定し  
ました。  
被爆30周年の第21  
回世界大会の成功は国  
内外の情勢をうけて大  
変重要な大会となりま  
した。平和行進を大き  
く組織して、核兵器完  
全禁止国際協定の締結  
核兵器・核基地・核部  
隊の撤去と非核三原則  
の立法化・被爆者援護  
法の制定・組織と運動  
の統一実現・第21回  
世界大会の成功を府民  
に訴える平和行進とな  
りました。  
「全国縦貫コース（東京  
→広島）」（588人）

7月2日泉佐野市  
役所→貝塚市役所→岸  
和田市役所→忠岡町役  
場→和泉市役所  
7月3日和泉市役  
所→泉大津市役所→高  
石市役所→浜寺公園→  
堺市役所→おりの橋  
7月4日おりの  
橋→住吉大社→塚西→  
播磨町→天王寺→上六  
→府庁

7月4日西淀川区  
役所→淀川→東淀川→  
豊里大橋→森小路→  
野江町→都島本通→  
天神橋→府庁  
被爆三十周年の国民  
平和行進の全国縦貫  
コースは、7月4日奈  
良県から引継ぎ、7日  
吹田市役所を出発、豊  
中市、池田市を通り兵  
庫県川西市役所までの  
行進でした。全国縦貫  
コースの大東市役所か  
ら東大阪市役所を通り  
府庁へ。府庁では、網  
の目コースの2日朝泉  
佐野市役所前、河内長  
野市役所前、4日西淀  
川区役所前から出発し  
た。府庁前で合流し

【大阪市内からの報告】  
7・26田辺模擬原爆追  
悼式が、東住吉区田辺  
の恩楽寺で開催され、  
投下時刻の午前9時  
26分に合わせて黙祷、  
犠牲者を追悼しました。  
78年前、全国に投下さ  
れた模擬原爆は、各地  
で多くの犠牲者を出し  
、ここ田辺でも7名の死  
者を含む多数の方々が





犠牲になられました。今年98歳の龍野繁子さんが、その時の体験を語られ「世界中から武器を使った争いのない世界になつてほしい」と想いを述べ、隣の小・中学生は、戦争は繰り返してはならない。学んだことを後輩たちや周りの人々に伝え、平和への歩みを進めていきたいと決意を語りました。敦賀市や春日井市など被災各地からオンラインでの報告がありました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
大阪宗教者平和協議会が、核兵器の廃絶を願って8月6日の原爆投下時刻に合わせて梵鐘をつく「第17回平和



1985年12月、広島市から原爆で被爆した旧市庁舎の側壁と敷石



平和の記念碑

千葉県・我孫子市  
我孫子市は、核兵器の廃絶と恒久平和を願う、昭和60年12月に「平和都市宣言」を行いました。平和事業に取り組み中で、様々な平和のシンボルを手賀沼公園に設置しています。

あんな街の非核・こんな街の平和

の鐘つき」が、妙徳寺で行われ、参加者が鐘をつきました。梵鐘をついた後「第13回からほりピースフェスタ」が開催され、アニメ「はだしのゲン」の上映などが行われました。

関東の主な「原爆の火」

東京都	新宿区役所本庁舎玄関
	世田谷公園(世田谷区)
	上野東照宮(台東区)
	JR大井町駅南口(品川区)
	板橋区役所本庁舎
	板橋区立平和公園
	芝公園(港区)
	国分寺市役所第二庁舎
神奈川県	大船観音寺(鎌倉市)
	徳恩寺(横浜市青葉区)
	秦野市役所本庁舎
	藤沢市役所分庁舎
千葉県	手賀沼公園(我孫子市)
埼玉県	常泉寺(さいたま市)



平和の灯

ある「平和の灯」は、1964年に、全国12宗派から寄せられた「宗教の火」と全国の工場地帯から届けられた「産業の火」が、核兵器の廃絶と恒久平和を願い点火されたものです。我孫子市は、この「平和の灯」から火を譲り受け、2015年8月15日に、その年の

あんな街の非核・こんな街の平和

を我孫子市原爆被爆者の会が譲り受け、翌年8月市が手賀沼公園に「平和の記念碑」を建立しました。以後、毎年8月に平和の記念碑前で、我孫子市原爆被爆者の会とともに、平和祈念式典を開催しています。

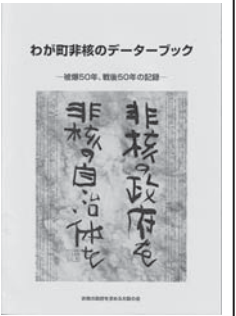


▲大阪を通過した「原爆の火」(1988..4.1)

広島派遣中学生の手により、手賀沼公園に点灯しました。この灯は、地球上から核兵器がなくなるまで燃やし続けます。

※左記「原爆の火」の関東地方の一覧表、1988年に大阪を通過した際の「原爆の火」リレーで挨拶する故新宮良正理事長(田村茂美氏提供)

【訃報】 田村茂美氏7月22日享年91歳。会の著作『わが町非核のデータブック』は大阪府下全自治体の非核・平和のモニュメント・標柱を事務局と一緒に撮影訪問をして完成したものです。氏の非核・平和運動の写真は、運動の一断面を見事に切り取ったものです。生前のご尽力に感謝し、ご冥福をお祈りします。(雅)



「非核大阪の会の意見広告ポスター」応募大綱

ロシア連邦によるウクライナ侵略から1年  
以上過ぎても、未だ収束の気配がなく、世界平和に大きな影を落としています。核兵器が国際法によって違法化されたにもかかわらず、ロシア政府は核兵器威嚇を繰り返し、米国もまた核戦力を見せつける危険な動きを強めています。岸田政権は、こうした米国の核戦略に追随し、「安保3法案」の閣議決定、大軍拡方針を推し進め、核兵器廃絶を求める被爆者や世界の圧倒的多数の人々の声に背を向け、核兵器廃絶を永遠に先送りする立場です。唯一の戦争被爆国であり憲法9条を持つ国として決して許されません。NPT再検討会議第1回準備委員会の成功と今年秋に開催予定の第2回締約国会議の成功のためにも、より一層草の根の力を強めることが求められます。

デザインは、西谷文和さんに提供いただいた「アフガニスタンの中村哲さんの灌漑写真」と「廃墟になったウクライナ・ハルキウのビルの写真」を使用し、戦争より平和の準備をとの想いを込めました。

□メインスローガン:今こそ戦争より平和の準備を  
□サブスローガン:政府は核兵器禁止条約に署名・批准を  
団体は1口3000円 個人は1口1000円 申込締切、11月末日(予定)  
問合せ・申込先  
「非核の政府を求める大阪の会」事務局 意見広告係  
TEL 06-6765-3032 Fax 06-6765-3033  
E-mail hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp